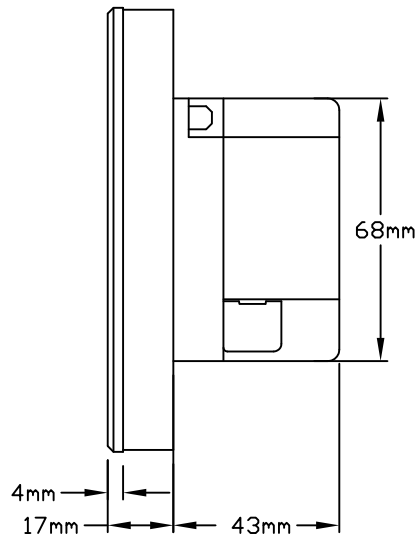
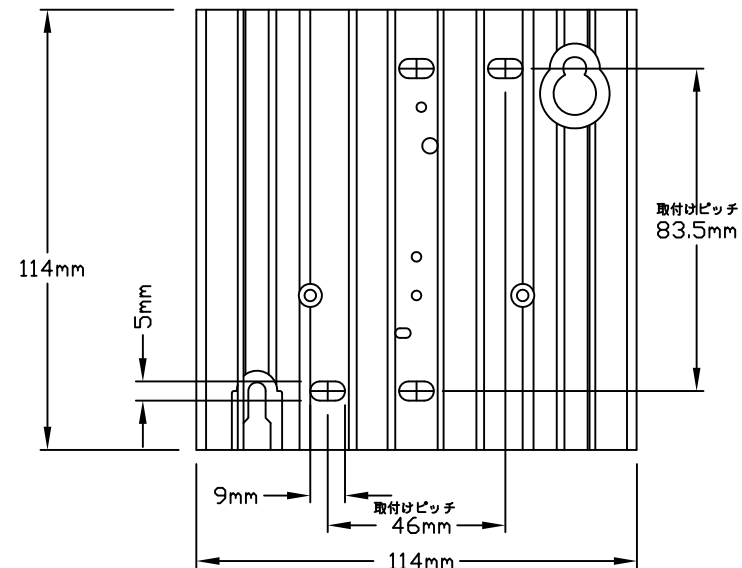


正面図
(フェースプレートを含む)



側面図
(フェースプレートを含む)



正面図
(フェースプレートを除く)

機能概要

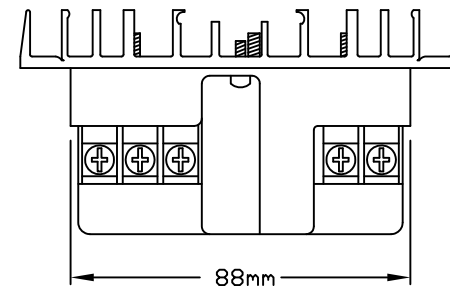
NGRX-PBSH-JA-WHは、グラフィックアイ3000メインコントローラに接続し、1600Wまでの位相制御調光用蛍光灯安定器(右下表参照)のインターフェースとして負荷をコントロールします。

ニッポ電機社製以外の安定器を使用する場合、本器とのマッチングテストが必要です。
マッチングしない器具を使用すると、不点・ちらつき・器具故障の原因となることがあります。

- ※1回路内に種類の異なる安定器を混在させないで下さい。照度のバラツキの原因になります。
- ※分岐回路用漏電ブレーカの使用には制限があります。別紙「漏電ブレーカ使用の際の注意事項」を参照下さい。
- ※接続する場合、放熱の為にインターフェース間の距離は左右10mm、上下110mm以上開けて下さい。ただし、下部は電線の接続端子がある為ドライバーの長さを考慮して下さい。

定格・仕様

種類	GRX-3000シリーズ用、外部ユニット
機能	位相制御調光蛍光灯 インターフェース
定格電源	AC100V 50/60Hz
適合負荷	右下表のニッポ電機調光用安定器に適合する負荷または同等の3線式 位相制御 調光蛍光灯器具
待機電力	1W
最大負荷容量	1600W
最低負荷容量	40W
その他	メインコントローラに対する消費電力 : 25W メインコントローラ1ゾーンあたり、最大2個まで接続可能
使用周囲温度範囲	0℃~40℃ (一般室内取付専用)
使用周囲湿度	相対湿度 90%以下 (無結露)
使用電線	φ2.0mm以下の単線またはより線 1端子あたり2本まで
適合スイッチボックス	2ヶ口用深型
フェースプレート材質	プラスチック
フェースプレート色	白
製品重量	約310g



見上図
(フェースプレートを除く)

NGRX-PBSH-JA-WH 適合器具

DNライティング株式会社製T6エースライン ERC42D/ERC64D/ERC96D 電子式安定器
その他メーカー 3線式 位相制御方式 調光蛍光灯器具 (本器とのマッチングテスト必須)

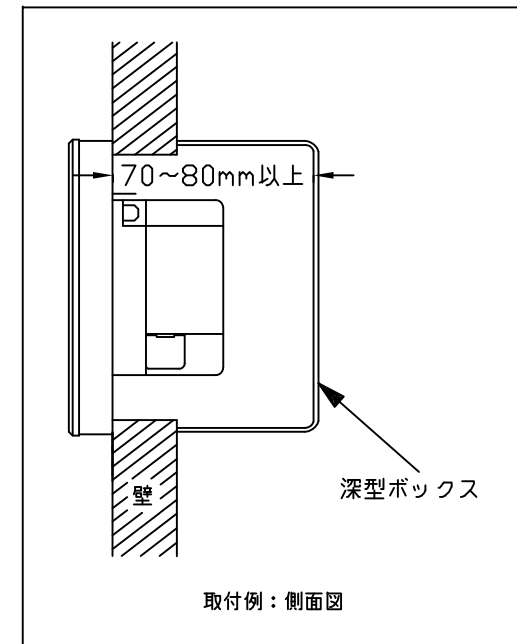
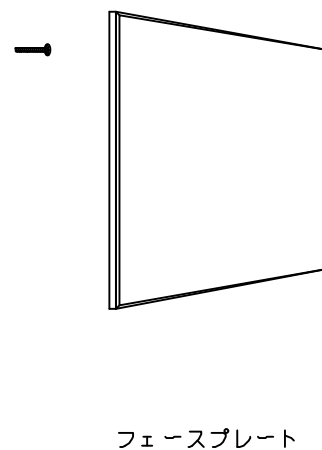
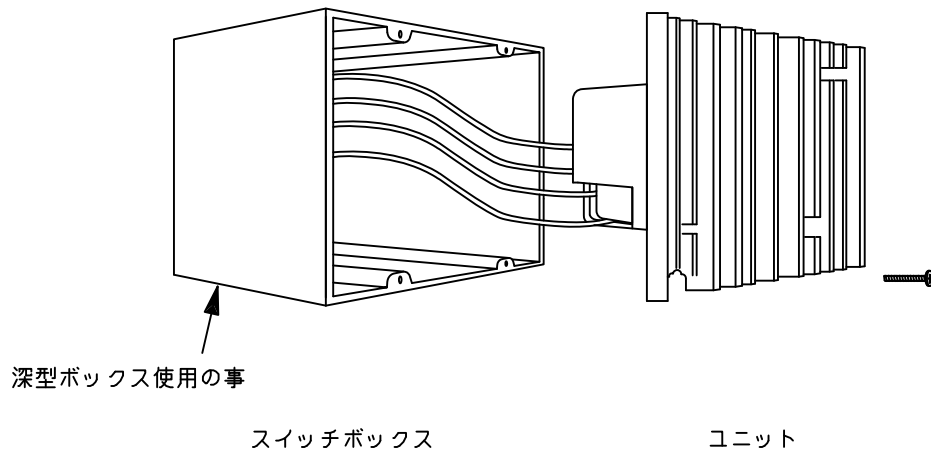


NGRX-PBSH-JA-WH

REVISION	5.4
RELEASED	2013.09.26
PAGE	1/4

承認	検図	作成
細谷	渋谷	浅野

GRAFIK EYE グラフィックアイ3000 シリーズ
位相制御蛍光灯用 インターフェース 仕様書




取付の際の注意事項

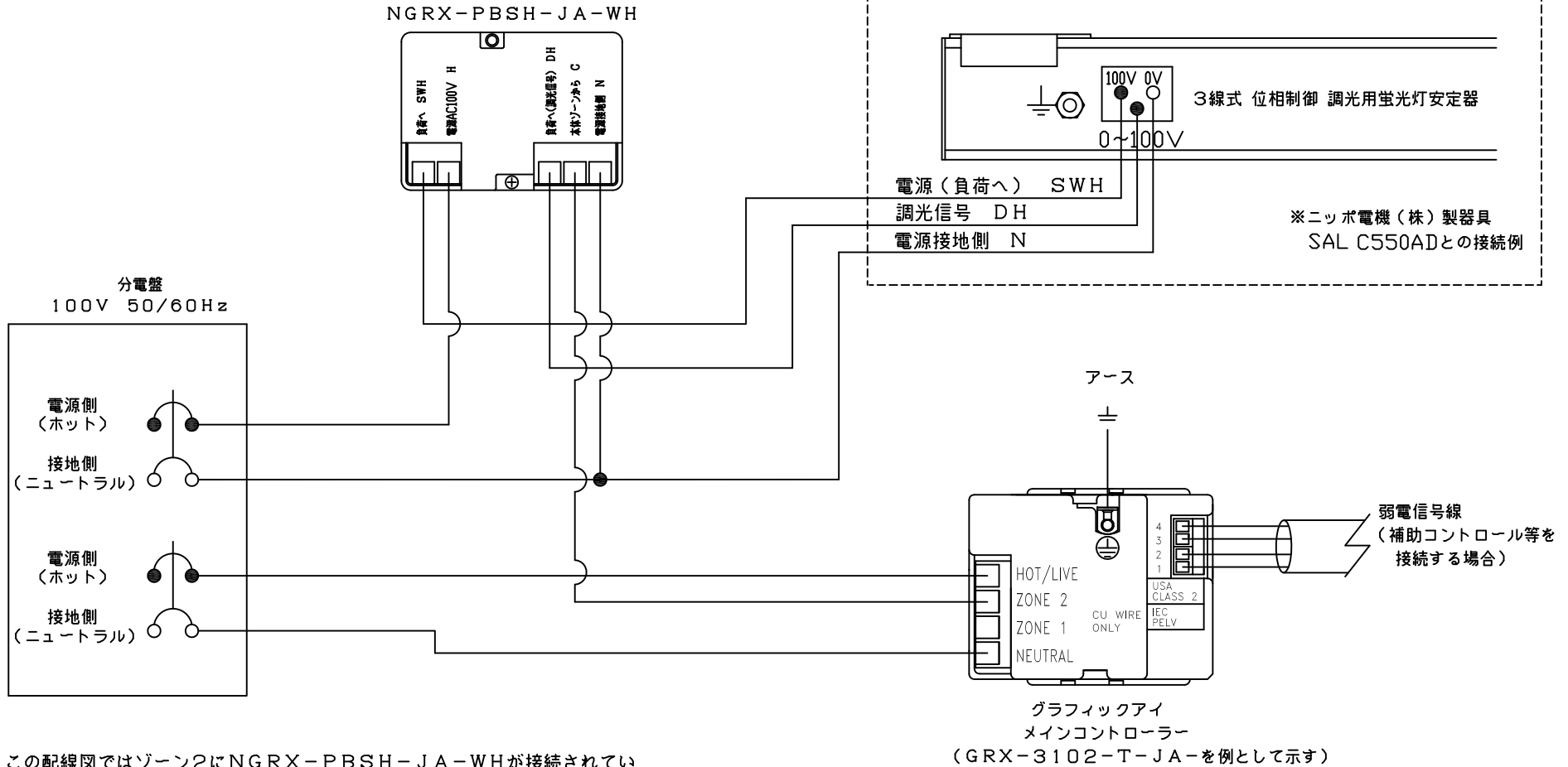
1. 配線は、必ず電源を切ってから行って下さい。
2. 同じゾーンに2台以上のNGRX-PBSH-JA-WHを接続しないで下さい。
3. 本器にモーター、扇風機など電灯以外の器具を接続しないで下さい。また、出力側にコンセント等の受け口をつけて器具を配線しないで下さい。
4. 負荷または負荷配線は絶対に短絡させないで下さい。内部回路が壊れます。
5. ユニットは正常動作中でも表面が暖かくなります。
6. メガテストの際は電圧100Vにて関係回路全ての電源をOFFにして行って下さい。
7. 分岐回路用漏電ブレーカーの使用には制限があります。詳細は別紙「漏電ブレーカー使用の際の注意点」を参照下さい。
8. 簡易取付金具での取付は不可。必ずボックス取付けとして下さい。
なお、ボックスは45~55mm程度の深さのあるものをご用意下さい。また、配線を考慮し、壁表面から壁の厚みを含んで最低70~80mm程度の奥行きを確保できるようにボックスを取付けて下さい。(取付例参照)
9. 本器は必ず垂直(傾斜角度 $\pm 7^\circ$ 以下)に取付けるようにして下さい。
10. 複数のプースター、インターフェースを並べて設置する場合は、放熱のため、左右10mm、上下110mm以上の間隔をあけるようにして下さい。

取付方法


1. 必ず分電盤のブレーカーで電源を切ってから行ってください。
2. フェースプレート(プラスチック表面板)を側面から剥がすようにしてはけません。
3. 電線の被覆を12mmむきます。(圧着端子使用の場合：丸形、内径3.5mm、外径8mm以下)
4. 別紙、NGRX-PBSH-JA-WHの配線図によって接続をします。
背面の端子台は、それぞれVVVF2.0mmまたはCV3.5mm²以下の電線を2本まで接続可能です。なお、端子台の接続ビスはしっかりと締めてください。(規定トルク：1N・m)
5. 配線を正しく接続したかどうか確認します。
6. 図のようにユニットをスイッチボックスに納め、取付ネジで固定します。(スイッチボックスと取付ネジは付属していません。)
7. フェースプレート(表面板)をパチンと押して、はめます。
8. 電源を入れる前に総ての配線をもう一度確認してください。

 ルートロン アスカ株式会社			REVISION	5.4
			RELEASED	2013.09.26
NGRX-PBSH-JA-WH			PAGE	2/4
承認	検図	作成	GRAFIK EYE グラフィックアイ3000 シリーズ 位相制御蛍光灯 インターフェース 取付説明	
細谷	渋谷	浅野		

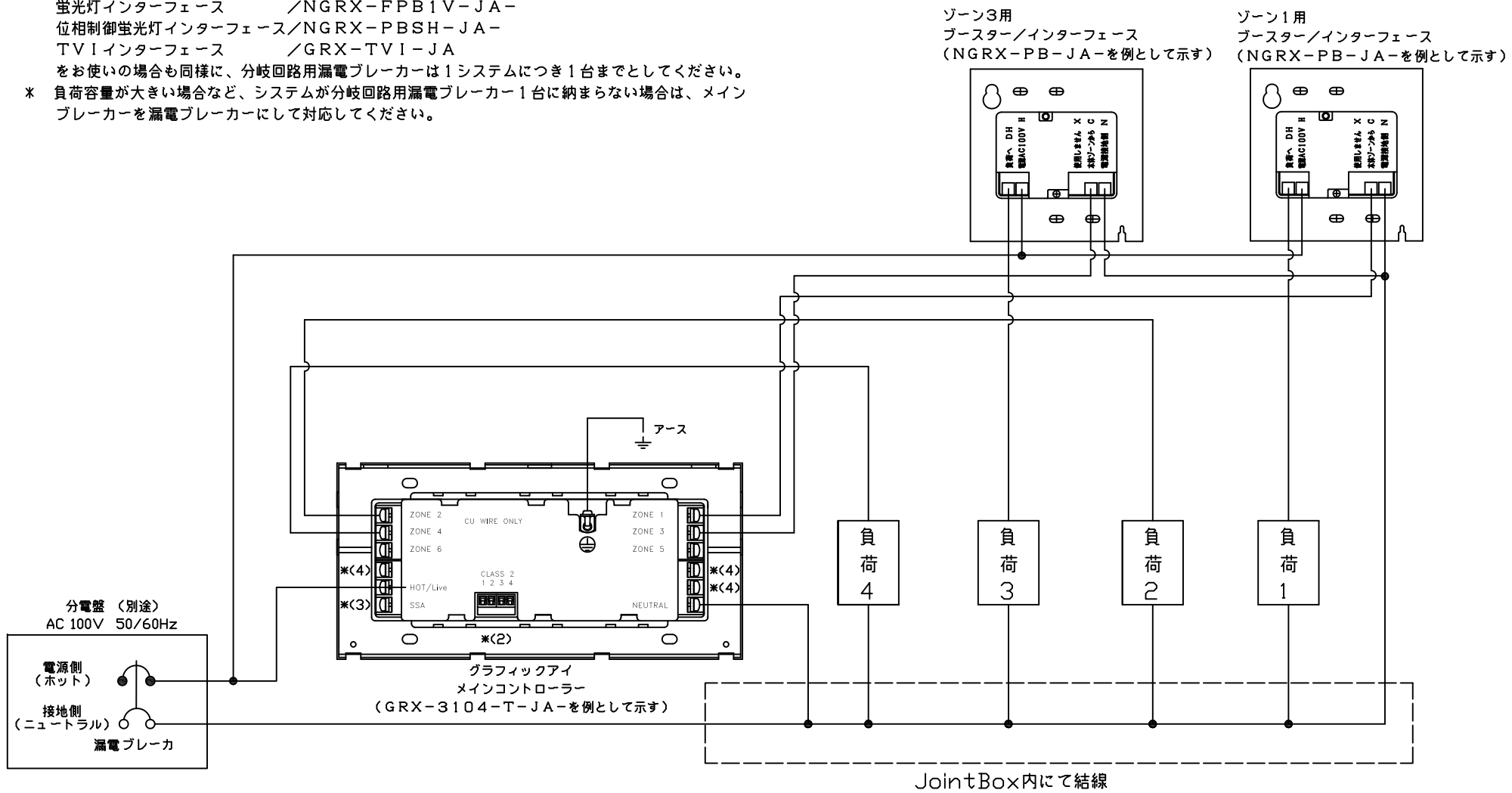
負荷 1



- (1) この配線図ではゾーン2にNGRX-PBSH-JA-WHが接続されている例を示しています。
- (2) NGRX-PBSH-JA-WHのホットとニュートラルは、分電盤上の同じブレーカーを使用してください。ニュートラル線を他のユニットやパワーブースター、インターフェースなどのニュートラル線とまとめないで下さい。
- (3) 端子台の接続ビスはしっかりと締めてください。(規定トルク: 1N・m)
- (4) メガテストの際は100Vの電圧にて関係回路全ての電源をOFFにして行ってください。
- (5) 分岐回路用漏電ブレーカーの使用には制限があります。詳細は次ページ「漏電ブレーカを使用する際の注意点」を参照下さい。

 ルートロン アスカ株式会社			NGRX-PBSH-JA-WH		REVISION	5.4	
					RELEASED	2013.09.26	
承認	(細谷)	検図	(渋谷)	作成	(浅野)	PAGE	3/4
GRAFIK EYE グラフィックアイ3000 シリーズ 位相制御蛍光灯 インターフェース 配線図							

- * 分岐回路用漏電ブレーカーは、下図のように1システム内に1個までとしてください。
 なお、下図ではパワーブースター/インターフェースを2台としておりますが、1台の場合、
 また、さらに多くのブースター/インターフェースを用いた場合も同様です。
- * 複数の分岐回路用漏電ブレーカーをご使用になるとブレーカーがトリップする場合があります。
- * 下図ではパワーブースター/NGRX-PB-JAを例としてあげておりますが、
 電子トランスインターフェース /NGRX-ELVI-JA-
 蛍光灯インターフェース /NGRX-FPB1V-JA-
 位相制御蛍光灯インターフェース/NGRX-PBSH-JA-
 TVIインターフェース /GRX-TVI-JA
 をお使いの場合も同様に、分岐回路用漏電ブレーカーは1システムにつき1台までとしてください。
- * 負荷容量が大きい場合など、システムが分岐回路用漏電ブレーカー1台に納まらない場合は、メイン
 ブレーカーを漏電ブレーカーにして対応してください。



 ルートロン アスカ株式会社			REVISION	5.4
			RELEASED	2013.09.26
承認	検図	作成	PAGE 4/4	
細谷	渋谷	浅野	GRAFIK EYE グラフィックアイ3000 シリーズ 配線図 (漏電ブレーカーを使用する際)	